

## 『バイオ医薬品ハンドブック 第2版』 訂正のお知らせ

ご購入いただきました『バイオ医薬品ハンドブック 第2版』(2016年10月発行)におきまして以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

2016年12月19日

### 【正誤表】

(2016年12月19日掲載分)

頁	訂正箇所	誤	正
244 245	表13-13 (No. 58、57、48、44、 43、38.35、26)	表中の <span style="background-color: yellow;">    </span> の網掛け	※すべて網掛けなし
245	表13-13 脚注	<span style="background-color: yellow;">    </span> :腫瘍溶解性ウイルス	※すべて削除
249	表13-14 <治験段階>	<u>ウイルスの種類 上から4番目:遺伝子組換えアデノ ウイルス の行</u>	※すべて削除

【正誤表】

(2016年11月29日掲載分)

頁	訂正箇所	誤	正
35	16行目	<p><u>、主にラージウイルス(レトロウイルスなどのウイルスサイズが30～40nmより大きいウイルス)除去フィルターと、スモールウイルス(パルボウイルスなどのウイルスサイズが20nm以下の小さいウイルス)除去フィルターに大別されている6)。</u></p>	<p><u>、主にラージウイルス除去フィルター(64～82nmのバクテリオファージPR772を&gt;6 log10以上除去)と、スモールウイルス除去フィルター(30～33nmのバクテリオファージPP7を&gt;4 log10以上除去)に大別されている8)。</u></p>
35	図 3-3 ウイルスのサイズとウイルスフィルターのポアサイズ	<p><u>Retro Virus 60nm</u></p>	<p>Retrovirus 80-120nm</p>
35	図 3-3 ウイルスのサイズとウイルスフィルターのポアサイズ	<p><u>35nm</u></p>	<p>50nm</p>
139	図 9-2	<p><u>1980年 第Ⅷ因子製剤</u></p>	<p>1980年 第ⅨⅢ因子製剤</p>
187	表11-1 項目欄の一番右	<p><u>2014市場</u></p>	<p>増減</p>